



平成 28 年 1 月 1 日現在	
総世帯数	1,812 世帯
総人口	3,687 人
男	1,808 人
女	1,879 人



今年も田川地区の多文化共生を考える「ふれあいパーティー」が12月12日(土)、田川公民館で開催されました。地区内で暮らしている外国籍のみなさん、今年は10か国もの集いとなり、身振り手振りを交え交流を深めました。

もちつきで始まり、初めての杵に戸惑いながらも、みんなで盛り上がりました。つきあがったお餅はおはぎにしてみんなでおいしくいただきました。デザートはフィリピンの郷土料理も堪能しました。

世界の各国では今も紛争が絶えません。民族、宗教、過去の確執、利権など色んな理由・原因があるのでしようが、家を焼



かれ子どもを連れて彷徨う姿をニュースなどで見るたびに胸が痛みます。

今回のふれあいパーティーは短い時間でしたが、お互いのことを少しでも理解し合えたと思います。ささやかなこうした交流をもっと多くの地ですすめて欲しいと思います。

(田川地区町会連合会会長 堀内 正雄)

# 新しい松本の味!! 信州・まつもと鍋交流会



12月24日(木)、信州・まつもと鍋の普及と、鍋を通して松本大学の学生と地域の方との交流を図ることの二つを目的に、田川公民館にて信州・まつもと鍋を作りました。

田川公民館では、11月まで松本大学の学生が野菜の販売をさせていたっていたこともあり、今回の交流会が実現しました。信州・まつもと鍋は、松本大



学、JA松本ハイランド、松本市が中心となり開発した鍋で、地産地消の促進、消費者の地元食材への関心を高める、「家族団らん手作り料理を楽しむ日」の普及促進を図るなどの目的で作られました。松本の食材をふんだんに使った鍋を、皮ごすとすりおろしたサンふじとポン酢を混ぜたものにつけて、いただきます。家族みんなで楽しんでもらえる鍋になっています。

今回、交流会に参加してくださった方からは、「おいしかった」「早速、家で作りたいと思う」などのお言葉



をいただき、大変嬉しく感じました。また、目的の一つであった、鍋を通しての地域の皆様方との交流もでき、楽しい会にすることができました。

今後も、信州・まつもと鍋を多くの方に知っていただけるよう努力してまいりたいと思っております。

参加してくださった地域の皆様、ご協力していただいた関係者の皆様、ありがとうございました。

(松本大学 荒井知奈美)



子どもから大人まで

## 田川ふれあい卓球・ピンポン大会



11月29日(日)、田川公民館で、田川地区体育協会主催「田川ふれあい卓球・ピンポン大会」を開催しました。

種目は、①個人戦卓球の部、②スリッパ卓球の部(中高年のみ)の二つで、それぞれ小学生低学年、高学年、中学以上、ハイクラス(ラージボール使用)に分かれて競いました。小学生の部は、小さな子どもさんがいるため、今回卓球マシーンを使い、何回ボールを打

てるかという田川ルールで行いました。マシーンから出るボールをラケットに当てられるようガンバっている子どもさんもあり、楽しそうにやっていました。優勝は宮田瑠夏さん、田川小2年生、ガンバリました。

高学年の部は、普段から児童館で卓球を遊びでやっているという小川原和花さん、田川小6年生が優勝しました。中学に入学したら、卓球部に入ってもらえれば、楽しみです。

スリッパ卓球の部は、中高年の参加が多くあり、楽しんでやっていました。まるで温泉場の旅館でさわいであるような楽しい卓球でした。

ハイクラスの部は、白熱した試合が多く、中には接戦で熱くなる人もあり、夢中で試合をしていました。大変盛り上がり良かったと思います。

卓球は、若い人から高齢者の方まで、誰でも手軽にできます。そして奥が深いスポーツでもあります。皆さん、この楽しい卓球、そして面白い卓球をですね、追求して、頑張ってもらいたいと思います。

(市民体育大会卓球の部)

田川地区監督 上條 晃